

X-point

管理者機能マニュアル
～ユーザインポートバッチ実行～

2025/10/16 版



はじめに

◆本書の目的

本書は「ユーザインポートバッチ実行」の設定方法について説明しています。
本書の内容をよくお読み頂いた上で、操作を行なってください。

◆対象とする読者

本書は「X-point」をお使いになるシステム管理者を対象としています。システム管理者とは「X-point」を運用するにあたり必要な設定および基本データの作成、維持管理を行なう本システムの管理権限を持つユーザを指します。

◆対応バージョン（2026/02/01 時点）

X-point
X-point v3.13

◆製品名について

本文中、「X-point サーバ」は「X-point」と表記しています。
また、各製品の名称は対応バージョンを省略してある箇所もありますのでご了承ください。

◆商標について

本書の一部、または全部を著作権所有者の許諾なしに、商用目的の為に複製、配布することはできません。
X-point、エクスポイントの名称およびロゴは株式会社エイトレッドの商標または登録商標です。
Microsoft、MS-DOS、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Macintosh、MacOS は Apple Computer, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。Adobe、Acrobat、Adobe Acrobat は Adobe Systems, Inc. の商標または登録商標です。ORACLE、Java、JavaScript は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。デスクネッツ、desknet's は株式会社ネオジャパンの登録商標です。サイボウズ、Cybozu はサイボウズ株式会社の登録商標です。

その他、記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する会社の商標または登録商標です。本書では、©、®、(TM) の表示を省略しています。ご了承ください。

◆製作著作

©2025 株式会社エイトレッド

目次／索引

1. 概要	4
2. ユーザインポートバッチ実行の機能概要	4
2. 1 ユーザインポートバッチ実行について	4
2. 2 ユーザインポートバッチ実行のエラー処理	4
2. 2. 1 ユーザインポート処理が中断するパターン	4
3. ユーザインポートバッチ実行の設定	5
3. 1 設定の流れ	5
3. 2 ユーザインポートバッチ登録の設定	5
3. 2. 1 CSV フォーマットが「X-point」または「サイボウズ Office」の場合	5
3. 2. 2 CSV フォーマットが「サイボウズ ガルーン」の場合	7
3. 2. 3 CSV フォーマットが「desknet's NEO」「desknet's NEO V7.5」の場合	9
3. 2. 4 CSV フォーマットが「cybozu.com」の場合	11
3. 4 CSV データ準備	13
3. 5 実行／スケジューリング	15
3. 5.1 手動実行	15
3. 5.2 スケジュール実行	17
4. ユーザインポートの実行結果確認	18
4. 1 タスクログ	18

1. 概要

本書では、X-point 運用環境において「ユーザインポートバッチ実行」の機能概要と、設定手順について説明します。

本機能では、管理者が登録した設定に従い、CSV ファイルを読み込んでユーザインポートが行われます。実行はスケジューリングすることができます。「ユーザインポートバッチ実行」をご利用いただくことにより、お使いのグループウェア等からユーザ情報をインポートして X-point の機能をご利用いただくことが可能になります。

2. ユーザインポートバッチ実行の機能概要

この章では、ユーザインポートバッチ実行の機能概要について説明します。

2. 1 ユーザインポートバッチ実行について

ユーザインポートバッチは、X-point のタスク管理機能により手動実行、及びスケジュール実行できます。

ユーザインポートバッチを実行するには、あらかじめ X-point の管理者サイトで設定を行う必要があります。タスク実行の際は、設定された内容でユーザインポートが行われます。

設定方法については本書「3. ユーザインポートバッチ実行の設定」を参照してください。

2. 2 ユーザインポートバッチ実行のエラー処理

ユーザインポート処理中にエラーが発生した場合には、処理を中断し、インポート前の状態に戻ります。

2. 2. 1 ユーザインポート処理が中断するパターン

- ・ CSV ファイルが存在しない場合はエラー扱いとなり、バッチ処理は行われません。
※CSV ファイルがひとつでも存在する場合は、存在するファイルの取込を行い、エラーとはなりません。
- ・ CSV ファイルに、ユーザ情報として不正なレコードが存在している場合はエラー扱いとなり、バッチ処理は行われません。

3. ユーザインポートバッチ実行の設定

この章では、ユーザインポートバッチ実行の設定方法について説明します。

3. 1 設定の流れ

- ① バッチ設定 管理者サイトのユーザ管理機能で、処理の詳細を設定。
- ② インポートデータ準備 ユーザインポート用の CSV ファイルをアップロードします。
- ③ 実行/スケジューリング タスク管理機能にて、手動実行または実行スケジューリングを行います。

3. 2 ユーザインポートバッチ登録の設定

ユーザインポートバッチ登録の設定を行うには、「ユーザ管理」→「インポート」→「インポートバッチ登録」をクリックして設定画面へ遷移します。設定する項目は下記の通り、インポートする CSV のフォーマットによって異なります。詳しくは【管理者機能マニュアル (cloud) : ユーザのインポート】を参照してください。

3. 2. 1 CSV フォーマットが「X-point」または「サイボウズ Office」の場合

インポートを行う CSV ファイルのフォーマットが、X-point 形式、サイボウズ Office パッケージ版 である場合に指定します。

The screenshot shows the 'User Import Batch Registration' settings page. The left sidebar contains navigation icons for Home, User, Form, Confirmation, Mask, Query, and System. The main content area is titled 'ユーザ管理' (User Management) and includes a breadcrumb trail: '→ユーザグループ → 役職 → ユーザ → インポート → エクスポート'. Below the breadcrumb, there are links for 'ユーザインポート', 'インポートバッチ登録', and 'タスクログ'. The settings are organized into several sections:

- 基本情報** (Basic Information):
 - インポートのバッチ実行: 実行する 実行しない
 - CSVフォーマット: X-point, desknet's NEO クラウド版 / パッケージ版 V7.5, desknet's NEO パッケージ版 V4.0~V7.1, サイボウズ Office パッケージ版, サイボウズ ガルーン パッケージ版
 - 文字コード: SJIS UTF-8
- インポートするデータファイル** (Data Files to Import):
 - ユーザ情報CSVファイル名: user.csv
 - グループ情報CSVファイル名: group.csv
 - 役職情報CSVファイル名: part.csv
 - ※CSVファイルの1行目は、項目行として無視されます。
- インポート方式** (Import Method):
 - 完全に置き換える
 - 差分更新
- 実行後のデータファイルの処理** (Processing of Data Files after Execution):
 - 成功時 (Success): 何もしない, 削除する, ファイル名を変更する ※ファイル名の末尾に実行日時を付け加えます。
 - 失敗時 (Failure): 何もしない, 削除する, ファイル名を変更する ※ファイル名の末尾に実行日時を付け加えます。
- ユーザ削除に関する設定** (Settings for User Deletion):
 - インポートによりX-pointのユーザが削除される場合の設定
 - ユーザが削除される場合は処理を中断し、インポート前の状態に戻す。
 - ユーザが削除される場合でもインポートを実行する。
- 備考** (Remarks):

At the bottom of the page, there is a blue '保存' (Save) button and a warning message: '⚠ ユーザインポートバッチ実行について ユーザインポートバッチを実行するにあたり、別途スケジュール設定を行う必要があります。設定方法については ユーザインポートバッチ実行マニュアル をご参照下さい。'

【インポートのバッチ実行】

インポートのバッチ実行を行うか行わないかを選択します。

【CSV フォーマット】

X-point、desknet's NEO、deslmet's NEO V7.5、サイボウズ Office、サイボウズ ガルーン、cybozu.com からフォーマットを選択します。

※本項では X-point または サイボウズ Office を選択しているものとします。

【文字コード】

インポートを行うデータファイルの文字コードとして「SJIS」「UTF-8」のいずれかを選択します。

【インポートするデータファイル】

インポートを行うデータファイルのユーザ情報 CSV ファイル名、グループ情報 CSV ファイル名、役職情報ファイル名を入力します。

【インポート方式】

インポート方式として「完全に置き換える」「差分更新」のいずれかを選択します。

- 完全に置き換える

X-point のユーザ情報、グループ情報、役職情報を CSV ファイルの内容で置き換えます。

- 差分更新

CSV ファイルに存在するユーザ情報、グループ情報、役職情報のみを新規登録、更新します。

CSV ファイルに存在しないユーザ情報やグループ情報、役職情報の設定内容は変更されません。

【実行後のデータファイルの処理】

インポートを実行した後の、取込対象ファイルの処理を選択します。

※ 初期値は「何もしない」が選択されています。

※ ファイル名を変更する場合、「user.csv」が「user.csv.YYYYMMDDHHmmss」のように変更されます。

(YYYYMMDDHHmmss 部分には実行年月日時分秒が入ります)

【ユーザ削除に関する設定】

インポートによりユーザが削除される場合の設定を選択します。

【備考】

任意の情報を入力します。(半角 500 文字以内)

3. 2. 2 CSVフォーマットが「サイボウズ ガルーン」の場合

インポートを行う CSV ファイルのフォーマットがサイボウズ ガルーン パッケージ版 である場合に指定します。

【インポートのバッチ実行】

インポートのバッチ実行を行うか行わないかを選択します。

【CSV フォーマット】

X-point、desknet's NEO、desknet's NEO V7.5、サイボウズ Office、サイボウズ ガルーン、cybozu.com からフォーマットを選択します。

※本項では「サイボウズ ガルーン パッケージ版」を選択しているものとします。

【文字コード】

インポートを行うデータファイルの文字コードとして「SJIS」「UTF-8」のいずれかを選択します。

【インポートするデータファイル】

インポートを行うデータファイルのパスとユーザ情報 CSV ファイル名、グループ情報 CSV ファイル名、ユーザ／グループ所属情報 CSV ファイル名、役職情報ファイル名を入力します。

また、ロール情報をインポートするかを選択し、選択した場合にはロール情報 CSV ファイル名、ユーザ／ロール情報 CSV ファイル名を入力します。

【インポートオプション】

氏名・カナをインポートするか選択します。

【インポート方式】

インポート方式として「完全に置き換える」「差分更新」のいずれかを選択します。

- 完全に置き換える

X-point のユーザ情報、グループ情報、役職情報を CSV ファイルの内容で置き換えます。

- 差分更新

CSV ファイルに存在するユーザ情報、グループ情報、役職情報のみを新規登録、更新します。

CSV ファイルに存在しないユーザ情報やグループ情報、役職情報の設定内容は変更されません。

【実行後のデータファイルの処理】

インポートを実行した後の、取込対象ファイルの処理を選択します。

※ 初期値は「何もしない」が選択されています。

※ ファイル名を変更する場合、「user.csv」が「user.csv.YYYYMMDDHHmmss」のように変更されます。

(YYYYMMDDHHmmss 部分には実行年月日時分秒が入ります)

【ユーザ削除に関する設定】

インポートによりユーザが削除される場合の設定を選択します。

【備考】

任意の情報を入力します。(半角 500 文字以内)

3. 2. 3 CSV フォーマットが「desknet's NEO」「desknet's NEO V7.5」の場合

インポートを行う CSV ファイルのフォーマットが、desknet's NEO クラウド形式、desknet's NEO オンプレミス版 V7.5 である場合に指定します。

ユーザー管理

→ ユーザグループ → 役職 → ユーザ → インポート → エクスポート

ユーザーインポートバッチ登録

ユーザーインポート インポートバッチ登録 タスクログ

基本情報	
インポートのバッチ実行	<input checked="" type="radio"/> 実行する <input type="radio"/> 実行しない
CSVフォーマット	<input checked="" type="radio"/> X-point <input checked="" type="radio"/> desknet's NEO クラウド版 / パッケージ版 V7.5 <input type="radio"/> desknet's NEO パッケージ版 V4.0~V7.1 <input type="radio"/> サイボウズ Office パッケージ版 <input type="radio"/> サイボウズ ガルーン パッケージ版
文字コード	<input checked="" type="radio"/> SJIS <input type="radio"/> UTF-8
インポートするデータファイル	ユーザー情報CSVファイル名: user.csv グループ情報CSVファイル名: group.csv ※CSVファイルの1行目は、項目行として無視されます。
インポート方式	<input checked="" type="radio"/> 完全に置き換える <input type="radio"/> 差分更新
実行後のデータファイルの処理	成功時 <input type="radio"/> 何もしない <input type="radio"/> 削除する <input checked="" type="radio"/> ファイル名を変更する ※ファイル名の末尾に実行日時を付け加えます。 失敗時 <input type="radio"/> 何もしない <input type="radio"/> 削除する <input checked="" type="radio"/> ファイル名を変更する ※ファイル名の末尾に実行日時を付け加えます。
ユーザー削除に関する設定	インポートによりX-pointのユーザーが削除される場合の設定 <input type="radio"/> ユーザーが削除される場合は処理を中断し、インポート前の状態に戻す。 <input checked="" type="radio"/> ユーザーが削除される場合でもインポートを実行する。
備考	

保存

ユーザーインポートバッチ実行について
ユーザーインポートバッチを実行するにあたり、別途スケジュール設定を行う必要があります。設定方法については ユーザーインポートバッチ実行マニュアル をご参照下さい。

【インポートのバッチ実行】

インポートのバッチ実行を行うか行わないかを選択します。

【CSV フォーマット】

X-point、desknet's NEO、desknet's NEO V7.5、サイボウズ Office、サイボウズ ガルーン、cybozu.com からフォーマットを選択します。

※本項では「desknet's NEO クラウド版 / パッケージ版 V7.5」を選択しているものとします。

【文字コード】

インポートを行うデータファイルの文字コードとして「SJIS」「UTF-8」のいずれかを選択します。

【インポートするデータファイル】

インポートを行うデータファイルのパスとユーザー情報 CSV ファイル名、グループ情報 CSV ファイル名を入力します。

【インポート方式】

インポート方式として「完全に置き換える」「差分更新」のいずれかを選択します。

- 完全に置き換える
X-point のユーザ情報、グループ情報、役職情報を CSV ファイルの内容で置き換えます。
- 差分更新
CSV ファイルに存在するユーザ情報、グループ情報、役職情報のみを新規登録、更新します。
CSV ファイルに存在しないユーザ情報やグループ情報、役職情報の設定内容は変更されません。

【実行後のデータファイルの処理】

インポートを実行した後の、取込対象ファイルの処理を選択します。

- ※ 初期値は「何もしない」が選択されています。
- ※ ファイル名を変更する場合、「user.csv」が「user.csv.YYYYMMDDHHmmss」のように変更されます。
(YYYYMMDDHHmmss 部分には実行年月日時分秒が入ります)

【ユーザ削除に関する設定】

インポートによりユーザが削除される場合の設定を選択します。

【備考】

任意の情報を入力します。(半角 500 文字以内)

3. 2. 4 CSV フォーマットが「cybozu.com」の場合

インポートを行う CSV ファイルのフォーマットが、cybozu.com 形式 である場合に指定します。

【インポートのバッチ実行】

インポートのバッチ実行を行うか行わないかを選択します。

【CSV フォーマット】

X-point、desknet's NEO、desknet's NEO V7.5、サイボウズ Office、サイボウズ ガルーン、cybozu.com からフォーマットを選択します。

※本項では cybozu.com を選択しているものとします。

【文字コード】

インポートを行うデータファイルの文字コードとして「SJIS」「UTF-8」のいずれかを選択します。

【インポートするデータファイル】

インポートを行うデータファイルのユーザ情報 CSV ファイル名、組織 CSV ファイル名、ユーザの所属組織 CSV ファイル名、役職 CSV ファイル名、グループ（ロール） CSV ファイル名、ユーザの所属グループ（ロール） CSV を入力します。

【インポートオプション】

氏名・カナをインポートするか選択します。

【インポート方式】

インポート方式として「完全に置き換える」「差分更新」のいずれかを選択します。

- 完全に置き換える
X-point のユーザ情報、グループ情報、役職情報を CSV ファイルの内容で置き換えます。
- 差分更新
CSV ファイルに存在するユーザ情報、グループ情報、役職情報のみを新規登録、更新します。
CSV ファイルに存在しないユーザ情報やグループ情報、役職情報の設定内容は変更されません。

【実行後のデータファイルの処理】

インポートを実行した後の、取込対象ファイルの処理を選択します。

- ※ 初期値は「何もしない」が選択されています。
- ※ ファイル名を変更する場合、「user.csv」が「user.csv.YYYYMMDDHHmmss」のように変更されます。
(YYYYMMDDHHmmss 部分には実行年月日時分秒が入ります)

【ユーザ削除に関する設定】

インポートによりユーザが削除される場合の設定を選択します。

【備考】

任意の情報を入力します。(半角 500 文字以内)

！ 注意事項

- ・ ファイル名には、.exe、.bin 等の実行ファイルは指定できません。
- ・ CSV ファイル名に全角文字を使用した場合、正常に動作しない場合がありますので、ファイル名には半角英数字のみを使用することを推奨します。

3. 4 CSV データ準備

ここでは、インポートを行う CSV ファイルをアップロードします。

前節で設定した CSV レイアウトに合致する CSV ファイルを用意して作業を始めます。

はじめに「ドメイン」→「タスク管理」をクリックし、画面左に表示されるタスクメニューから「ユーザインポート」→「データファイル」画面を表示します。

つづいて、画面下の【ファイルを選択】ボタンより、CSV ファイルを選択し、【アップロード】ボタンによりアップロードを実行します。

▼タスク管理：ユーザインポート画面トップ

タスク管理 > ユーザインポート > データファイル

タスク

- 自動申請
- ユーザインポート
- データファイル 実行
- スケジュール
- タスクログ
- マスタインポート
- クエリCSV出力
- 督促メール
- 回覧照読
- クリーンアップ
- タスクログ削除
- kintone連携

ユーザ情報CSVファイルのアップロード/ダウンロード/削除ができます。
・ユーザ情報インポートバッチ登録で指定された文字コード(SJIS)で保存されたファイルを使用してください。

■データファイル管理 → 実行データ バックアップ (成功) バックアップ (失敗)

<input type="checkbox"/>	No	ファイル名	最終更新日時	ファイルサイズ
ファイルがありません。				

データファイルのアップロード [ファイルを選択](#) ファイルが選択されていません [アップロード](#)

CSV ファイルをアップロードすると一覧にファイル名が表示されます。

タスク管理 > ユーザインポート > データファイル

タスク

- 自動申請
- ユーザインポート
- データファイル 実行
- スケジュール
- タスクログ
- マスタインポート
- クエリCSV出力
- 督促メール
- 回覧照読
- クリーンアップ
- タスクログ削除
- kintone連携

ユーザ情報CSVファイルのアップロード/ダウンロード/削除ができます。
・ユーザ情報インポートバッチ登録で指定された文字コード(SJIS)で保存されたファイルを使用してください。

■データファイル管理 → 実行データ バックアップ (成功) バックアップ (失敗)

<input type="checkbox"/>	No	ファイル名	最終更新日時	ファイルサイズ
<input type="checkbox"/>	1	part.csv	2025/12/08 10:28:39	530バイト
<input type="checkbox"/>	2	group.csv	2025/12/08 10:28:34	6KB
<input type="checkbox"/>	3	user.csv	2025/12/08 10:28:29	248KB

チェックしたファイルを [削除する](#)

データファイルのアップロード [ファイルを選択](#) ファイルが選択されていません [アップロード](#)

！注意事項

・アップロードするファイルは、インポートを行う CSV フォーマットのタイプにより数が異なります。

画像は「X-point」タイプの場合になります。

・アップロードするファイルは、「3. 2 ユーザインポートバッチ登録の設定」で設定した文字コードで保存されたファイルを使用してください。

▼画面解説

- データファイル管理 アップロードした CSV データを一覧表示します。ユーザインポートバッチ登録ではバッチ実行の成功時又は失敗時に「ファイル名を変更する」を選択した場合、以下のファイル区分ごとに表示が行われます。
区分の選択はリンクとして一覧の右肩に表示されます。
※ ユーザインポートバッチ登録で成功時及び失敗時に「何もしない」か「削除する」が選択されている場合、【実行データ】に該当するデータのみが表示され、これらの区分リンクは画面に現れません。

実行データ	未実行データ及び、実行後リネームされていない CSV データを表示します。自動申請の対象となるデータです。
バックアップ (失敗)	失敗ファイルのみを表示するリンクです。
バックアップ (成功)	成功ファイルのみを表示するリンクです。

ファイル名のリンクをクリックするとダウンロードが開始されます。

！注意事項

ファイルは CSV ファイルの種類別に最大 25 件迄保存できます。25 件を超えた場合、毎日 23:00 に最終更新日時の古いものから順に削除されます

- 【削除する】ボタン 一覧で表示されるファイルを消去したい場合は、左のチェックボックスを選択した後【削除する】をクリックします。

3. 5 実行／スケジュールリング

次は、アップロードした CSV データを既に設定したユーザインポートバッチに基づき、
いよいよ実際にインポート実行するステップです。実行方法には、手動実行とスケジュール実行があります。

ユーザインポートの実行は、**現在ログインしているドメインに対して実行されます。**

従来は、現在表示しているドメインに関わらず全てのドメイン上でのユーザインポートが実行されるようになっておりましたが、「X-point v3.1.00」よりドメイン毎に実行できるように仕様変更されております。ご注意ください。

！注意事項

- ・「X-point v3.1.00」適用前に設定していたスケジュールはそのまま全てのドメインに対して実行されます。
 - ・「X-point v3.1.00」適用後に再設定した段階で、設定したドメインに対してのみ実行されるようになります。
- ※現在の X-point のバージョンは「管理者サイト＞ドメイン管理＞ドメイン基本設定」にてご確認可能です。

3.5.1 手動実行

「ドメイン」→「タスク管理」をクリックし、画面左に表示されるタスクメニューから「ユーザインポート」→「実行」画面を表示します。

▼手動実行画面



【開始】ボタンにより直ちにユーザインポートが実行されます。

▼手動実行中



ユーザインポートが完了すると画面は自動的に実行結果ログを表示して終了します。

▼手動実行完了画面

The screenshot shows the X-point web application interface. At the top, the logo 'X-point' and the user name '株式会社エイトレッド 勝太郎' are visible. The navigation bar includes 'ドメイン管理' and several sub-menus: 'ドメイン', 'フォーム関連情報', 'メール設定', 'ログ', 'タスク管理', '定義書出力', and 'サポート'. The main content area is titled 'タスク管理 > ユーザインポート > 実行'. A red message states: 'ユーザーインポートの実行が完了しました。 →タスクログから実行履歴を確認できます。'. Below this is a section for '実行結果ログ' with a 'ダウンロード' link. The log content includes: 'X-point Command Tools 'ユーザーインポート'', 'Copyright (C) 2012-2013 ATLED CORP. All rights reserved.', and a list of statistics for the domain 'atled(atled)'. The statistics are: 'ユーザー新規登録件数: 3', 'ユーザー更新件数: 0', 'ユーザー削除件数: 0', 'グループ新規登録件数: 1', 'グループ更新件数: 0', 'グループ削除件数: 0', '役職新規登録件数: 1', '役職更新件数: 0', and '役職削除件数: 0'. The log concludes with 'ユーザーインポートを終了します。'. A sidebar on the left contains navigation icons for 'ドメイン', 'ユーザー', 'フォーム', '承認', 'マスタ', 'クエリ', and 'システム'.

株式会社エイトレッド
勝太郎

ユーザーサイトへ 管理者マニュアル ログアウト

ドメイン管理 →ドメイン →フォーム関連情報 →メール設定 →ログ →タスク管理 →定義書出力 →サポート

タスク管理 > ユーザインポート > 実行

タスク

- 自動申請
- ユーザーインポート
- データファイル
- 実行
- スケジュール
- タスクログ
- マスタインポート
- クエリCSV出力
- 督促メール
- 回覧照録
- クリーンアップ
- タスクログ削除
- kintone連携

ユーザーインポートの実行が完了しました。
→タスクログから実行履歴を確認できます。

▼実行結果ログ [実行結果ログをダウンロード](#)

X-point Command Tools 'ユーザーインポート'

Copyright (C) 2012-2013 ATLED CORP. All rights reserved.

ドメイン: atled(atled)
ユーザー新規登録件数: 3
ユーザー更新件数: 0
ユーザー削除件数: 0
グループ新規登録件数: 1
グループ更新件数: 0
グループ削除件数: 0
役職新規登録件数: 1
役職更新件数: 0
役職削除件数: 0

ユーザーインポートを終了します。

3.5.2 スケジュール実行

負荷の掛かる時間帯を避け、利用の少ない休日や深夜にユーザインポートを実行したい場合はスケジュール機能を利用することができます。

「ドメイン」→「タスク管理」をクリックし、画面左に表示されるタスクメニューから「ユーザインポート」→「スケジュール」画面を表示します。

▼スケジュール設定画面



開始時間を設定し、【保存】ボタンにより設定を適用します。

実行種別	設定の意味
なし	スケジュールを解除します
毎時	一時間に一回、選択した「分」に実行します
毎日	一日に一回、選択した「時」「分」に実行します
毎週	一週間に一回、選択した「曜日」「時」「分」に実行します
毎月	一月に一回、選択した「日」「時」「分」に実行します

※「分」は5分単位で設定可能です。また、毎月の設定で当月に存在しない日（例えば毎月31日を指定した場合の2月など）はタスクが実行されませんので注意が必要です。毎月実行したい場合は毎月1日を指定してください。

4. ユーザインポートの実行結果確認

この章では、ユーザインポートの実行結果の確認方法を説明します。

4.1 タスクログ

ユーザインポートの実行確認を行うには、タスクログ機能によって行います。

タスクログは「ドメイン」→「タスク管理」をクリックし、画面左に表示されるタスクメニューから「ユーザインポート」→「タスクログ」画面を表示します。

▼タスクログ画面

処理日	実行結果	メッセージ
2020/10/06 14:36:12	警告	削除データが存在するため、ユーザインポートを中断しました。
2020/10/06 14:31:06	失敗	ユーザインポートに失敗しました。

① 検索条件

検索を行うには次の検索条件を指定して【検索】をクリックします。

【実行日】

タスクが実行された日を日付範囲で指定します。初期表示時は操作日が設定されます。

【実行結果】

タスク実行結果が「成功」「失敗」「警告」を、それぞれ表示対象にするか否かをチェックボックスで指定します。

初期表示時のチェックボックス状態は 成功 失敗 警告 と設定されます。

【表示件数】

検索結果一覧の1頁に何件表示するかをプルダウンメニューから選択して指定します。

初期表示時は30件が設定されます。

② 検索結果

一覧には検索条件に合致したユーザインポート実行結果が表示されます。尚、別のドメインで実行されているインポート結果は表示されません。

処理日	実行結果	メッセージ
2023/08/29 16:01:19	失敗	ユーザインポートに失敗しました。
2023/08/17 10:46:42	成功	【test01】インポートに成功しました。

③ 詳細メッセージの表示

「タスクログ検索画面」の検索結果一覧から、メッセージのリンクをクリックするとメッセージの詳細が表示されます。

処理日	実行結果	メッセージ
2023/08/29 16:01:19	失敗	ユーザインポートに失敗しました。
2023/08/17 10:46:42	成功	【test01】インポートに成功しました。

ユーザインポートタスクログ

■タスクログ詳細

2023/08/29 16:01:19 (ユーザインポート) [検索画面へ戻る](#)

100件 ▼ ずつ表示 1件中 1-1表示

明細番号	実行結果	詳細メッセージ
1	エラー	part.csv : データ行が存在しないファイルは取り込みません。

【表示件数】

検索結果一覧の1頁に何件表示するかをプルダウンメニューから選択して指定します。

初期表示時は100件が設定されます。

■改訂履歴

改版	改版内容
2021年4月1日版	初版リリース
2021年11月10日版	「3.4 実行/スケジュールリング 注意事項」 実行範囲を『全ドメイン』から『実行したドメインのみ』に変更
2023年4月3日版	desknet's NEO V7.5 を利用する場合について記載を追加
2023年8月29日版	「4.1 タスクログ」 タスクログ画面キャプチャ差し替え、詳細画面の説明追加
2024年8月19日版	「2.2.1 ユーザインポート処理が中断するパターン」から、採番管理デーモンに関する記載を削除
2024年8月21日版	「3.4 CSV データ準備」の項を追加。
2024年12月11日版	「3.2.2 CSV フォーマットが「サイボウズ ガルーン」の場合」 「3.2.4 CSV フォーマットが「cybozu.com」の場合」 画面イメージの差し替え、【インポートオプション】の説明を修正
2025年9月1日版	「3.2.1 CSV フォーマットが「X-point」または「サイボウズ Office」の場合」 「3.2.2 CSV フォーマットが「サイボウズ ガルーン」の場合」 「3.2.3 CSV フォーマットが「desknet's NEO」「desknet's NEO V7.5」の場合」 「3.2.4 CSV フォーマットが「cybozu.com」の場合」 画面イメージの差し替え、文字コードの説明文を追加
2025年10月16日版	「3.2 ユーザインポートバッチ登録の設定」画像イメージを差し替え、インポート方式の説明を追記